



## 広報ボランティアのページ

●担当ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

### スリランカで国際協力活動

## JICA・TFGプロジェクトの事例-その3

NPO法人タランガフレンドシップグループ（TFG）は、低開発村の住民のための研修を行い、作った物を売る場として州都クルネーガラの市場で販売ネットワークの構築も行いました。

スリランカ人の7割がシンハラ人であり、仏教徒です。タミール人はヒンズー教徒であり、イスラム教徒もいます。また、シンハラ人の一部にキリスト教徒もいます。

スリランカでは、小学校とは別に子どもたちのための寺小屋が多くあります。子どもの頃から宗教を学び、宗教が身近なものとして人々が生活しています。

私はアーナンダ・クマラ先生を代表とする日本人団体の一人として南部の西海岸にある小・中学校を訪問しました。子どもたちが民族舞踊で歓迎してくれました。

この時は、2004年のスマトラ島沖地震による津波の被害状況をお聞きし、寄付金、本や楽器などの寄贈を行いました。そして、校内に訪問の記念碑を設置しました。歓迎会の終わりに、子どもたちが全員立ち上がり、両手を合わせ、お祈りを始めました。生徒の制服が皆白いので印象的でした。

しかしながら、現在のスリランカは、大統領が亡命するなど、苦境に陥っています。（日置）



TFG販売ネットワークの構築  
州都クルネーガラの市場にて2008年撮影

## 尾西南部生涯学習センター(尾西南部公民館)が新しく生まれ変わります！

現在改修中の尾西南部生涯学習センターですが、令和5年4月1日から「朝日公民館」が設置されます。そして、朝日公民館の設置により、「尾西南部公民館」は廃止になります。

今回は新たなスタートを切る尾西南部生涯学習センターについてお知らせします。

尾西南部公民館は旧尾西地区の住民の方達を中心に、他の地域の人達との交流の場として親しまれてきました。

実は筆者も尾西南部公民館には大変お世話になっており、長い間サークル活動や季節の様々なイベントに参加させていただいていました。かつての賑わいを知る者としては、改修によって南部公民館が廃止という一つの区切りが来ることに一抹の寂しさを感じています。

しかし、終わりがあれば始まりもあります。令和5年4月1日からは尾西南部公民館に代わり、「朝日公民館」が設置され、朝日地区の方々を中心としたより一層地元に着目した公民館としてスタートを切ります。

尾西南部公民館時代の良き伝統を受け継ぎつつ、新たな役割を背負って歩み始める「朝日公民館」に今後も最大限の期待を寄せつつ発展を見守り続けたいと思っています。

尚、朝日公民館の設置変更に伴い、公民館の利用方法が少し変更になりますので、今まで利用されていた方は注意をしてくださいね。今後とも尾西南部生涯学習センターを盛り上げていきましょう。（岩下）